

# IKITOMO

自然の恵みを感じる生物多様性マガジン 「イキトモ」

特別号

SUMMER  
2017



# 生物多様性を知ろう



2011年から2020年までの10年間は、  
国連の定めた「国連生物多様性の10年」です。

## 生物多様性とは？

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。地球上の生きものは、長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化してきました。現在、地球には3,000万種ともいわれる多様な生きものがいます。

これらの生命はひとつひとつに個性があり、すべての生きものは、お互いにつながりあって、支えあって生きています。私たちは、暮らしに欠かせない水や食料をはじめ、様々な生物多様性の恵みを受け取っています。生物多様性豊かな自然は、私たちのいのちと暮らしを支えているのです。

〈写真提供〉

福田幸広／西口美春／ふわしん  
三木 昇／草野香子／鍵井靖章／森田敏隆

私たちの暮らしを支える

# 3つの 生物多様性

生物多様性には生態系、種、遺伝子の  
3つのレベルの多様性があります。

## 自然のめぐみ

暮らしに欠かせない水、  
食料、木材、繊維、医薬  
品など、私たちはさまざま  
な生物多様性のめぐみ  
を受け取っています。

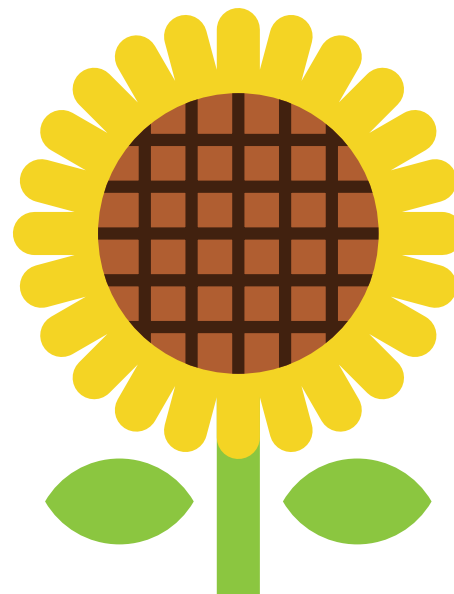
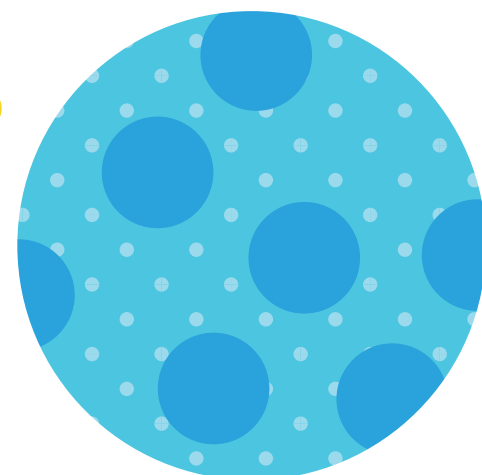
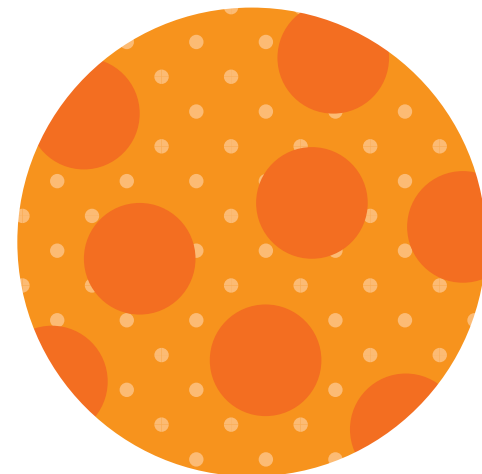
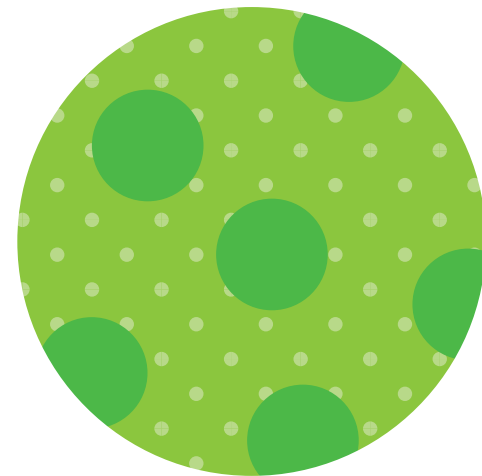


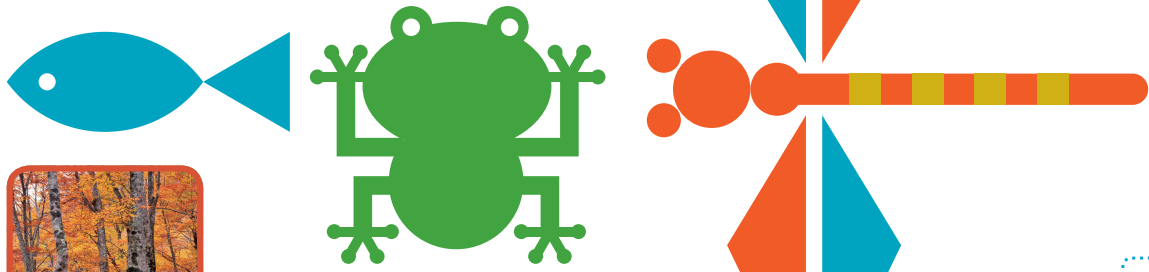
## “遺伝子” の多様性

遺伝子の多様性とは、同じ種であっても、  
個体や個体群の間に遺伝子レベルでは違  
いがあることです。例えばテントウムシ(ナ  
ミテントウ) やアサリの模様はさまざま  
ですが、これは遺伝子の違いによるものです。



左／遺伝子の違いから、さまざまな模様が存在する  
アサリ。右／色や柄がそれぞれ異なるナミテントウ。





# “生態系” の多様性

上／白神山地のブナ林。  
中／高知県の西部を流れる  
四万十川。下／石垣島の  
サンゴ礁。

生態系の多様性とは、いろいろなタイプの生態系がそれぞれの地域に形成されていることです。数千の島々からなり南北約3000kmに及ぶ国土を有する日本にも、森林、湿原、河川、干潟、サンゴ礁など、多様な生態系があります。

## 里地里山

長い歴史の中で人間の働きかけを通じて特有の自然環境が形成された地域で、農地、ため池、草原やその周辺の林などが含まれます。

## 河川・湿原

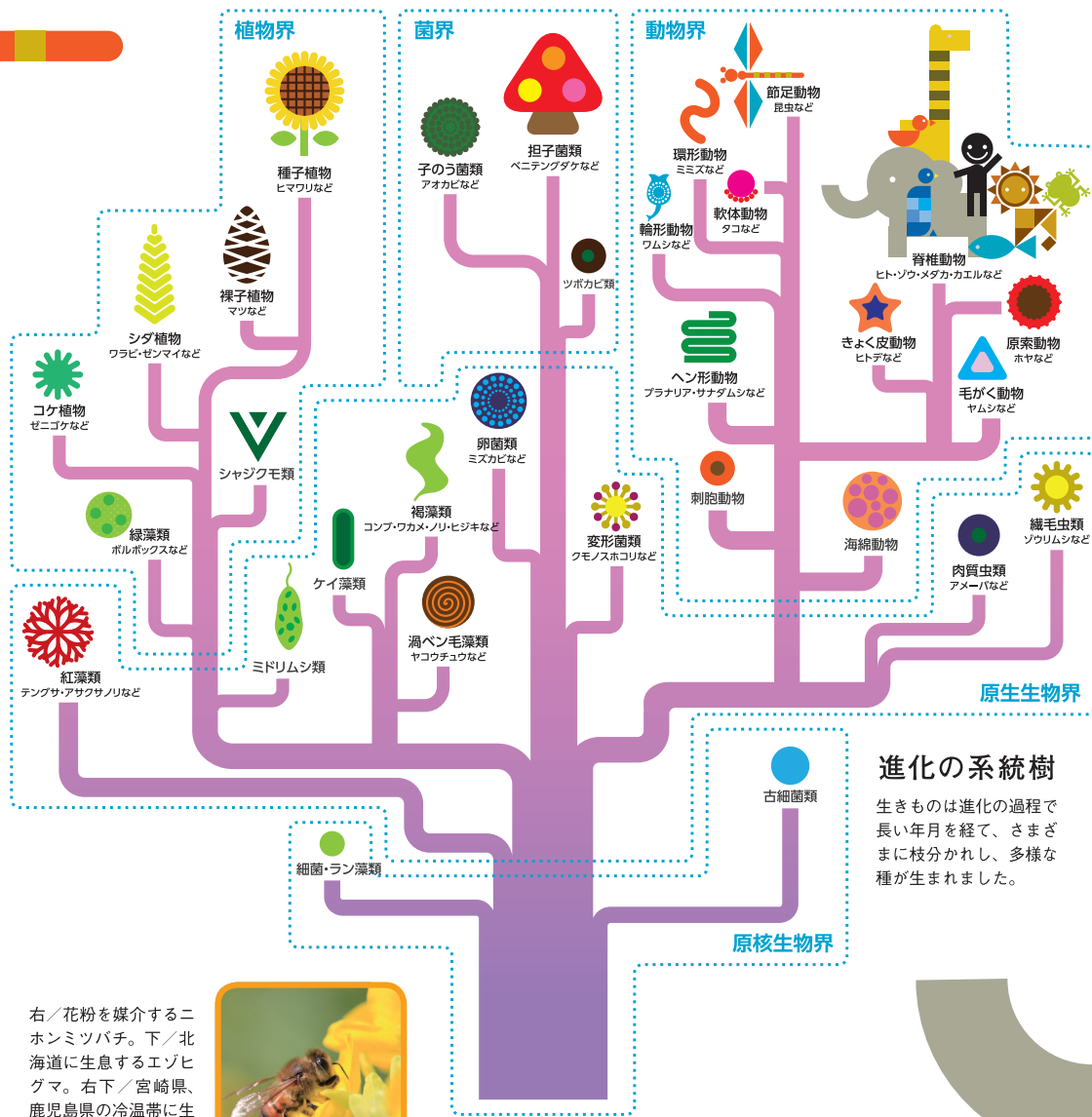
魚類や水鳥をはじめ、多様な生きものすみかになっています。河川は上流・下流、森と海をつなぐ自然の回廊です。

## 沿岸・海洋

干潟、サンゴ礁、深海などさまざまな生態系があり、陸上の気候や生態系にも影響を与えています。

## 奥山

自然に対する人間の働きかけが小さい地域で、大型のほ乳類や猛禽類の生息地が含まれます。



## 進化の系統樹

生きものは進化の過程で長い年月を経て、さまざまに枝分かれし、多様な種が生まれました。

右／花粉を媒介するニホンミツバチ。下／北海道に生息するエゾヒグマ。右下／宮崎県、鹿児島県の冷温帯に生息するキリシマアザミ。



種の多様性とは、いろいろな動物・植物や菌類、バクテリアなどが生息・生育しているということです。地球上には3000万種、日本だけでも30万種を超える生物が存在すると推定されています。

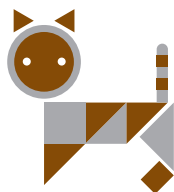
# “種” の多様性

# 知っていますか？ 生物多様性の危機

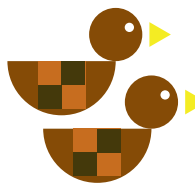
人の活動による影響が主な要因で地球上の種の絶滅のスピードは自然状態の約100～1,000倍にもなっています。日本国内でも、たくさんの生きものたちが危機に瀕しています。

日本の  
絶滅危惧種  
**3,634**  
種

※海洋生物を除く



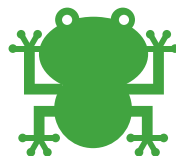
哺乳類の  
**21%**



鳥類の  
**14%**



爬虫類の  
**37%**



両生類の  
**37%**



汽水・  
淡水魚類の  
**42%**



維管束  
植物の  
**25%**

生物多様性のためにできることを考えよう